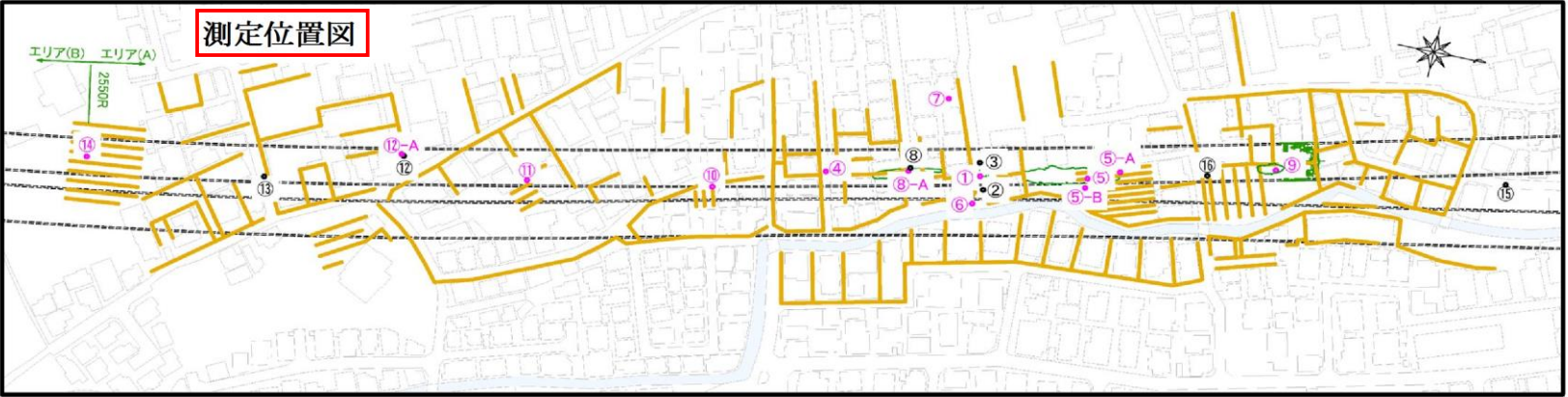
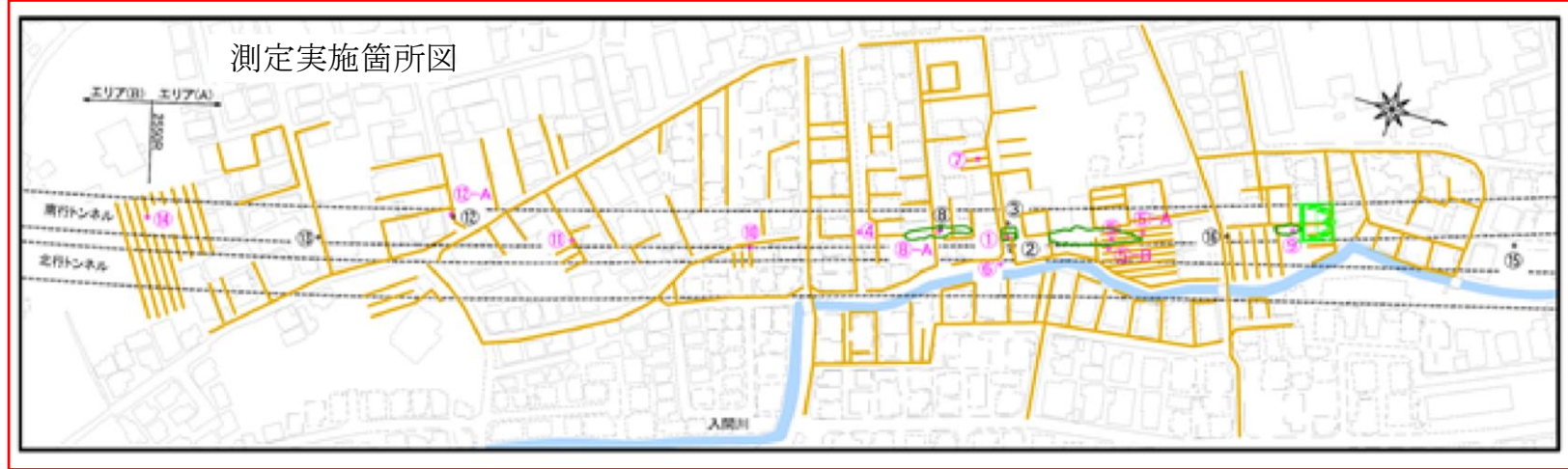


訂正箇所	正誤区分	
報告書 3.2.8 微動アレイ探査結果 P3-15	誤	測定位置図 
		測定計画図  測定実施箇所図  訂正内容 測定位置図を測定計画図に修正、測定実施箇所図を追加

訂正箇所

報告書
4.3 地盤特性のまとめ
P4-3

誤

ボーリング No	地層	掘削断面			掘削断面上部	表層部	備考
		細粒分	均等係数	地質状況			
H21-12	東久留米層	10%以下	5以下	礫が介在	単一の砂層であり、流動化しやすい層が地表面近くまで連続している	厚さ 5～10m 程度の埋土・沖積層・武蔵野礫層	陥没箇所近傍
H21-13				粘性土が介在	単一の砂層であり、流動化しやすい層が地表面近くまで連続している	厚さ 5～10m 程度の埋土・沖積層・武蔵野礫層	
H21-15				礫・砂・シルト・粘土が混在する互層	礫・砂・シルト・粘土が混在する互層で構成されている	厚さ 15～20m 程度の関東ローム層・武蔵野礫層	
H21-23	舎人層			礫・砂・シルト・粘土が混在する互層	礫・砂・シルト・粘土が混在する互層で構成されている	厚さ 15～20m 程度の関東ローム層・武蔵野礫層	
H21-30				礫・砂・シルト・粘土が混在する互層	礫・砂・シルト・粘土が混在する互層で構成されている	厚さ 15～20m 程度の関東ローム層・武蔵野礫層	

正

ボーリング No	地層	掘削断面			掘削断面上部	表層部	備考
		細粒分	均等係数	地質状況			
H21-12	東久留米層	10%以下	5以下	礫が介在	単一の砂層であり、流動化しやすい層が地表面近くまで連続している	厚さ 5～10m 程度の埋土・沖積層・武蔵野礫層	陥没箇所近傍
H21-13				粘性土が介在	単一の砂層であり、流動化しやすい層が地表面近くまで連続している	厚さ 5～10m 程度の埋土・沖積層・武蔵野礫層	
H21-15				砂層	礫・砂・シルト・粘土が混在する互層で構成されている	厚さ 10m 程度の関東ローム層・武蔵野礫層	
H21-23	舎人層			礫・砂・シルト・粘土が混在する互層	礫・砂・シルト・粘土が混在する互層で構成されている	厚さ 15～20m 程度の関東ローム層・武蔵野礫層	
H21-30				礫・砂・シルト・粘土が混在する互層	礫・砂・シルト・粘土が混在する互層で構成されている	厚さ 15～20m 程度の関東ローム層・武蔵野礫層	

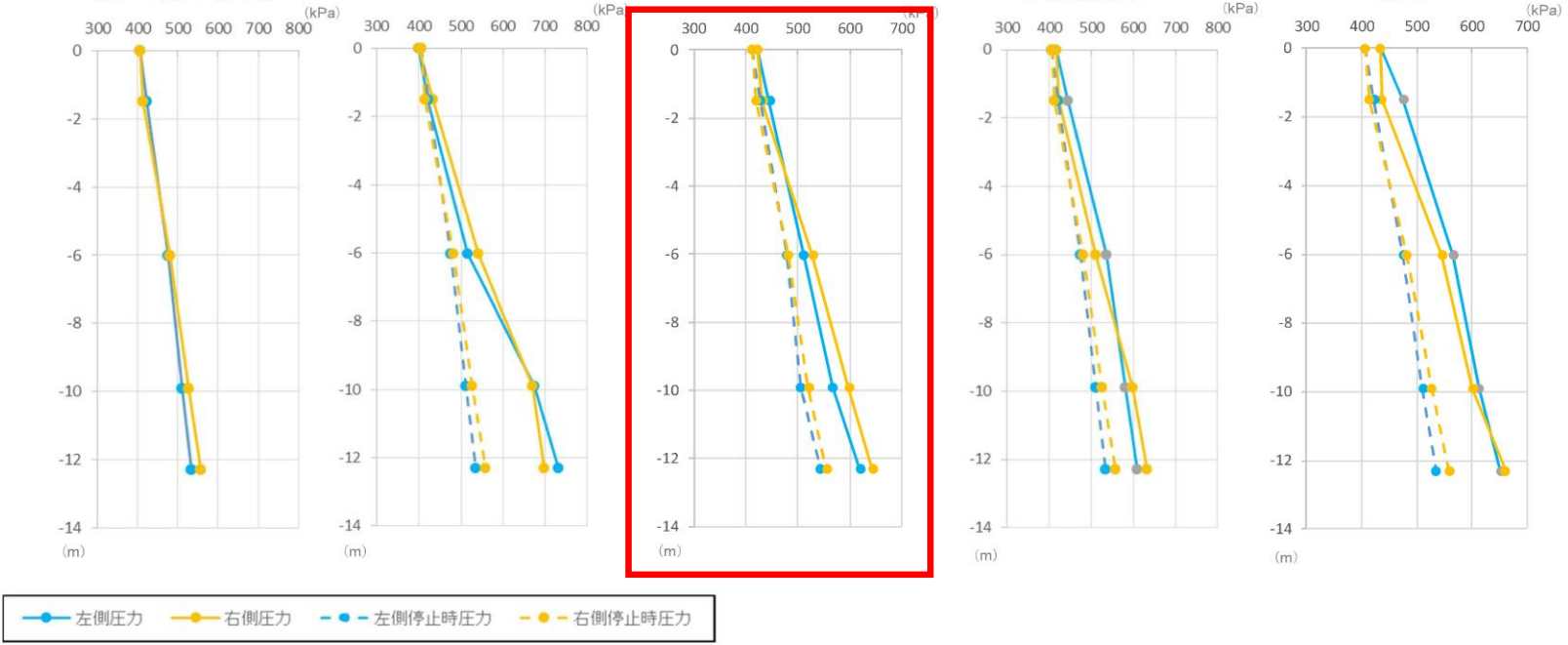
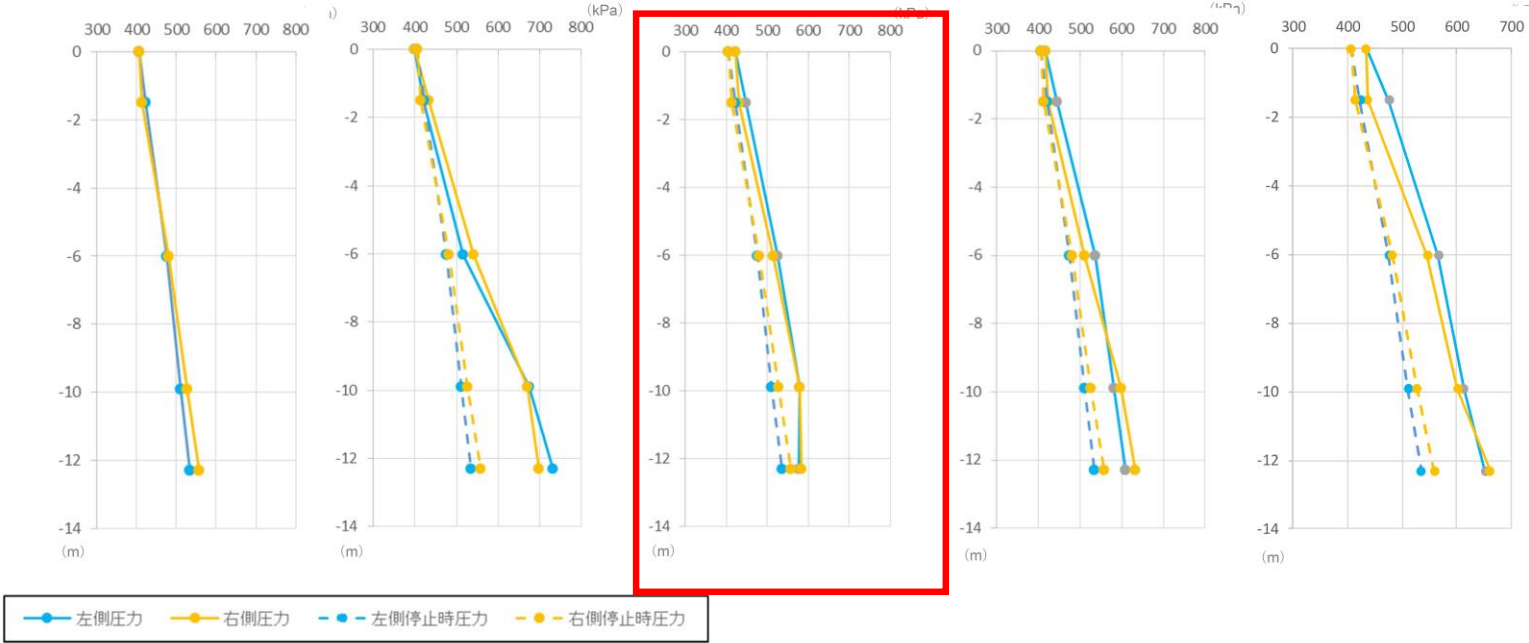
訂正内容

表記を修正

訂正箇所	正誤区分
報告書(参考資料) 1.2 路面下空洞調査 P1-2	誤 1.2 路面下空洞調査 路面下空洞調査は、地表下 1.5m 程度までの地下にある空洞を調査するものであり、陥没箇所・空洞箇所周辺において、10 月 18 日に発生した陥没事象と同様に、直ちに陥没に至るような差し迫った空洞の有無を調べるために実施した。路面下空洞調査の結果、いずれの箇所も陥没の可能性ランク A に分類される箇所は確認されなかった。また、異常信号があった箇所は、トンネル直上に集中していないことから、シールドトンネルの施工が影響している可能性は低いと考えられる。(※地表面における空洞の広がり短軸が大きく、発生深度が浅いほど、陥没の可能性が高いランク A となる。) (世田谷区付近) 拡大(参考) 地表面における空洞の広がり 短軸 [m] 発生深度 [m] 陥没の可能性ランク A ランク B ランク C ○：異常信号があった箇所 (調布市付近) 拡大(参考) 地表面における空洞の広がり 短軸 [m] 発生深度 [m] 陥没の可能性ランク A ランク B ランク C ○：異常信号があった箇所 (練馬区付近) ○：異常信号があった箇所 ※対策優先度の検討を行うためには、路面変状状況や空洞化原因を把握の上、総合的に判断する必要がある。

正	1.2 路面下空洞調査 路面下空洞調査は、地表下 1.5m 程度までの地下にある空洞を調査するものであり、陥没箇所・空洞箇所周辺において、10 月 18 日に発生した陥没事象と同様に、直ちに陥没に至るような差し迫った空洞の有無を調べるために実施した。路面下空洞調査の結果、いずれの箇所も陥没の可能性ランク A に分類される箇所は確認されなかった。また、異常信号があった箇所は、トンネル直上に集中していないことから、シールドトンネルの施工が影響している可能性は低いと考えられる。(※地表面における空洞の広がり短軸が大きく、発生深度が浅いほど、陥没の可能性が高いランク A となる。) (世田谷区付近) 拡大(参考) 地表面における空洞の広がり 短軸 [m] 発生深度 [m] 陥没の可能性ランク A ランク B ランク C ○：異常信号があった箇所 (調布市付近) 拡大(参考) 地表面における空洞の広がり 短軸 [m] 発生深度 [m] 陥没の可能性ランク A ランク B ランク C ○：異常信号があった箇所 (練馬区付近) ○：異常信号があった箇所 ※対策優先度の検討を行うためには、路面変状状況や空洞化原因を把握の上、総合的に判断する必要がある。
----------	---

訂正内容	・世田谷-7,8,17,18のプロット位置を修正 ・調布-9,11のプロット位置を修正 ・調布-13,16の番号重複を調布-14,17へ修正 ・練馬-1の箇所を修正
-------------	---

訂正箇所		正誤区分	
報告書(参考資料) 2.3 回転不能 対応時の施工 データ P2-28	誤	①6 : 00 停止時(停止時圧力) ②9 : 02 カッターヘッド回転動作中 ③9 : 10 排土中 ④9 : 15 起泡溶液注入中 ⑤9 : 29 掘進中  ● 左側圧力 ● 右側圧力 ● 左側停止時圧力 ● 右側停止時圧力	
	正	①6 : 00 停止時(停止時圧力) ②9 : 02 カッターヘッド回転動作中 ③9 : 10 排土中 ④9 : 15 起泡溶液注入中 ⑤9 : 29 掘進中  ● 左側圧力 ● 右側圧力 ● 左側停止時圧力 ● 右側停止時圧力	
訂正内容		圧力グラフを修正	